

下京雅学校だより

後期学校評価特集
~SHIMOGYO-MIYABI News Letter~



平成 30 年 3 月
京都市立下京雅小学校

平素は、本校教育にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、1月に実施いたしました平成29年度後期学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様と児童と教職員が共通の質問項目でアンケートをとり、その実現度を前期と後期で比較しました。

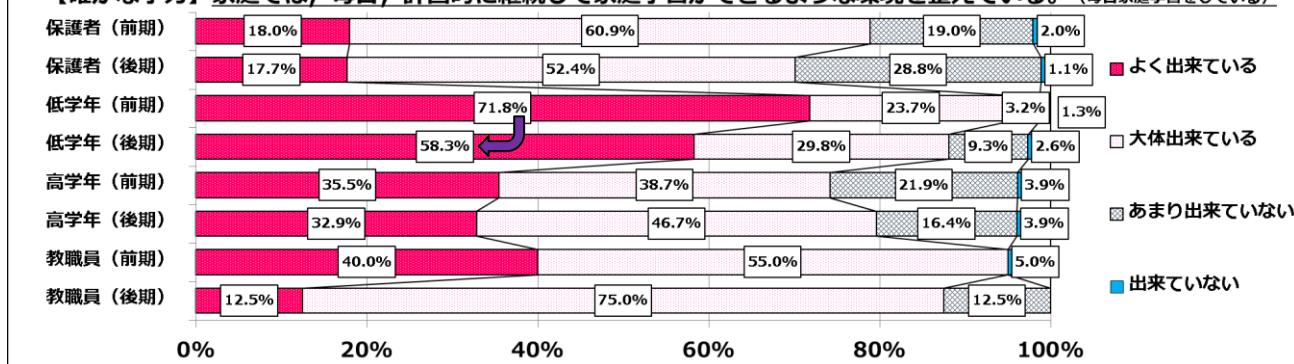
【アンケート集計結果】(実現度の値は、解答の平均値を1.0~4.0のスコアで表示したものです。)

質問項目 ※()は児童用の質問 児童アンケートには「子どもは」「家庭では」という主語はありません。	実現度(4.0に近いほど実現できていると考えられます) 【■は実現度が前期に比べて0.2以上↑, □は0.2以上↓】								分析・考察	
	保護者		低学年		高学年		教職員			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
確かな学力	子どもは、学校の授業がわかっている。 (学校の授業はよくわかる)	3.2	3.2	3.6	3.6	3.5	3.4	3.2	3.2	「話を聞くこと」についての実現度が高まっています。「人を大切にする子はよい聞き手」と言われていますので、これからもよい聞き手であってほしいです。一方、家庭学習や読書については課題の残る結果となりました。図書ボランティアの方の活動も始まっていますので、よいきっかけとなればと考えています。
	子どもは、めあてをもってあきらめずに学習に取り組んでいる。	3.1	3.0	3.7	3.6	3.3	3.2	3.3	3.3	
	家庭では、毎日、計画的に継続して家庭学習ができるような環境を整えている。	2.9	2.9	3.7	↓3.4	3.1	3.1	3.3	↓3.0	
	子どもが人の話をしっかり聞けるように、家庭でも話をしっかり聞いている。	2.9	2.9	3.5	3.6	3.3	↑3.5	3.5	3.5	
	子どもが、自分の考えをきちんと言えるよう子の言葉を待つようにしている。	2.9	2.8	3.5	3.5	3.1	3.1	3.4	3.4	
	家庭でも、読書の習慣が身につくように工夫している。(たくさん本を読んでいる)	2.6	2.6	3.5	↓3.3	3.3	↑3.0	2.8	2.9	
豊かな心	子どもは、楽しく学校に通っている。 (学校にくるのが楽しい)	3.5	↑3.7	3.7	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4	保護者の方から、「楽しく学校に通っている」というよい評価をいただき、大変喜んでいます。また、自分から進んであいさつをすることに対しての教職員の実現度が高まっています。ご家庭での温かい声かけやご支援が、日々のあいさつの姿となって表れているのだと思い、感謝しています。さらに高められるように働きかけたいです。
	家庭では、お互いの良さを認め合い、自分もまわりの人も大切にできるようにしている。	3.2	3.2	3.8	3.7	3.6	3.6	3.3	3.2	
	家庭では、家族のルールや、社会のルールを守ることの大切さを確認している。	3.3	3.3	3.7	3.6	3.4	3.5	3.1	↑3.3	
	家庭では、あいさつを大切にし、自分から進んであいさつができるようにしている。	3.1	3.1	3.6	3.5	3.3	↑3.5	2.9	↑3.1	
	家庭では、時と場合を考えた、ていねいな言葉遣いを心がけている。	2.9	2.9	3.5	3.5	3.2	3.2	2.9	↑3.2	
	友達や家族、兄弟姉妹に思いやりの気持ちでかかわることを大切にしている。	3.1	3.1	3.7	↓3.5	3.2	3.1	3.2	3.1	
健やかな体	家庭では、早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣が身につくように心がけている。	3.2	3.1	3.4	3.4	3.2	3.1	2.9	2.9	おおむね前期と同じような実現度でしたが、教職員の実現度は、保護者の方や子どもたちの実現度より高くなっています。4月からの外遊びの取組の成果を、子どもたちの姿から感じているのではないかと推察します。
	子どもたちが安全を意識して生活できるように働きかけている。(安全に注意して生活している)	3.3	3.3	3.8	3.7	3.7	3.6	3.3	↑3.6	
	家庭では、外に出て遊び、よく体を動かすように声かけをしている。(よく体を動かしている)	3.0	↓2.8	3.5	3.5	3.5	3.4	3.0	2.9	
	家庭では、好き嫌いなく食事ができるように意識や工夫をしている。	3.1	3.1	3.5	3.4	3.3	3.3	3.0	↑3.4	
家庭・学校・地域との連携	学校は、ホームページや学校だより、学級の学習予定表などで学校の様子を分かりやすく伝えている。	3.3	3.2					3.1	3.1	下京雅統合の初年度、「地域」の方々に大きな力添えをいただいた一年でした。すべての教職員の感謝の思いが実現度に表れております。今後は、三者が更にスムーズな情報共有ができるように、学校の発信の仕方についても考え直す必要があると感じています。
	家庭では、配布物やホームページなど、学校からの情報を確認している。	3.2	3.2					3.0	2.9	
	学校と家庭が子どものことについて、遠慮なく相談できる。	3.0	3.1					2.9	↑3.1	
	見守り活動など、「地域ぐるみ」で子どもを育てようとしている。	3.1	3.1					3.1	3.0	
	「ありがとうございます」と感謝の言葉が素直に言えるようなかかわりをしている。	3.2	3.2					3.3	3.4	

ご協力ありがとうございました。

【特徴的な項目での分析・考察】(三つの重点「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の三つの重点から一つ)

【確かな学力】家庭では、毎日、計画的に継続して家庭学習ができるような環境を整えている。(毎日家庭学習をしている)



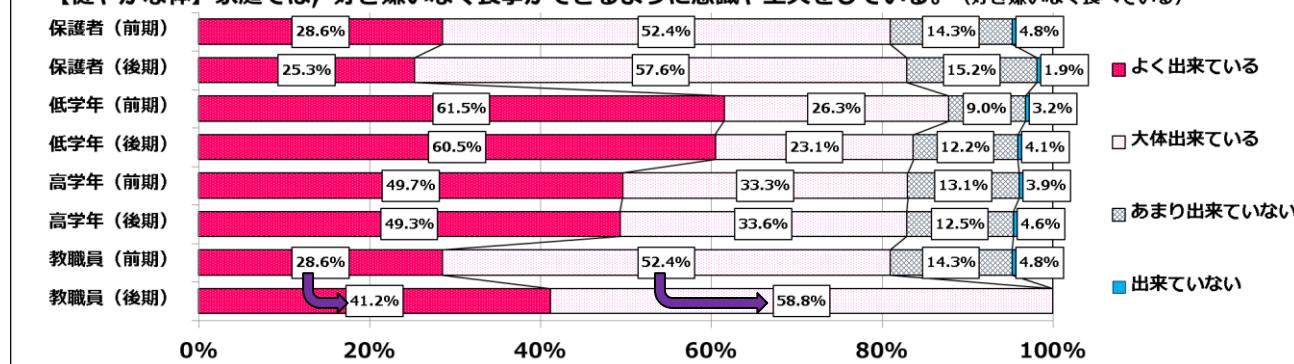
家庭学習は、学んだことを振り返り、確かな学力につなげるものです。毎日コツコツ続けていくことが、子どもたちの力となります。小学生のうちに家庭学習の習慣を身に付けることが、後々の学校生活に大きく影響します。このようなことからも、「よく出来ている」と回答した低学年児童で約20ポイント低下したことは問題といえます。「先生や家の人に言われなくとも宿題や課題をやることができ」「わからないことは自分で調べる」「興味・関心を持ったことを追求する」などという力を身に付けるためにも、子どもたちへの肯定的な声かけや家庭学習に取り組む時間の工夫などの支援を続けていきたいと考えます。

【豊かな心】家庭では、時と場合を考えた、ていねいな言葉遣いを心がけている。(ていねいな言葉を使っている)



保護者や子どもたちの評価は前期と大きく変わりませんが、教職員の「よく出来ている」と回答した割合は、8.7%から30%に上昇しました。4月に比べ、子どもたちの言葉遣いが丁寧になってきたという実感をもっている教職員が増えたということであり、喜ばしい結果でした。子どもたちの丁寧な言葉遣いを継続するためには、まず我々大人が普段から手本となる話し方をする必要があります。授業中はもちろん、いつでもどこでもだれに対しても、丁寧語、または美しい言葉を使うように意識していきたいと感じました。

【健やかな体】家庭では、好き嫌いなく食事ができるように意識や工夫をしている。(好き嫌いなく食べている)



「よく出来ている」「大体出来ている」と回答した割合は、約80%以上であり、素晴らしい結果でした。子どもたちの給食での様子を振り返ると、4月に比べ、食べる量が増え、どのクラスも毎日完食することがほとんどです。毎日の給食指導や給食週間での取組の成果が表れていると考えています。子どもは、食に対してほかの人の影響をとても受けやすく、好き嫌いも周囲の人に大きく左右されることがあります。これからも学校でもご家庭でも、食に対しての良い環境を整えていきながら、子どもたちの健やかな体を支えていきたいと考えています。

学校運営協議会の方々のご意見 (多くの意見をいたしました)

教職員の評価が高まっていることが素晴らしいですね。子どもたちとこれまで取り組んでこられた結果だと感じます。統合して人が増え、活気のある学校になってよかったです。

あいさつは校歌の歌詞にもあるように、心を開いて進んでできるといいですね。

学校評価の質問項目を保護者のニーズを基に作成するのもいいですね。

統合初年度ということもあり、子どもたちも教職員も、とても張り切って取り組まれ、前へ前へ進まれていた。二年目以降も、前進していただきたいが、時には立ち止まりながら、足元を固めていっていただきたい。

これらの結果を、来年度の下京雅教育推進に生かしていきたいと思います。